



若葉光

宮坂静生



明け暮れの霧の磨ぎたる朴若葉
新樹中梯子のぼりの四十雀
あをだもの花や頭蓋のぴきと鳴る
菩提樹の茂みへ塔を仰ぎたし
若葉光音の殿堂建つるごと
水分神を祀るくちなはわたる沼
踏むまじやわが先々へ糸とんぼ

「運命」を聴く、軽井沢大賀ホール



根の国へ銀竜草の花ひらく
シエルターのくらし鮎子眼の鋭ど
青柚から青柚へしづく戦絶て
螢烏賊戦車は喉通らざり
赤紙を仕舞忘れし吉里吉里忌
明易し兵士に仕立てられてをり
赤雪が降る侵さるゝ夢ばかり
富士見高原駅の真黒きチューリップ

(井上ひさし忌)

(種る)